

新米パパは恰幅がよくなる

Expectant dads get chubby

パートナーが出産を控えている雄ザルは、ヒトの場合と同じように太ることがわかった。

doi:10.1038/news060130-6/1 February 2006

Helen Pearson

もうすぐ父親となる男性は、太ってベルトがきつくなることがあるという。パートナーの妊娠期間中、雄ザルの体重が増加したという報告は、そうした現象の生物学的基盤を裏づけるものとなるかもしれない。

パートナーが妊娠中の男性には、体重の増加、吐き気、背中痛みといった、女性の妊娠に伴う症状とよく似た症状が広くみられる。しかし、クーバード症候群ともよばれるこうした現象は、心理的な問題だとして見過ごされることが多く、詳細な実験的説明もない。

だが、ウィスコンシン大学マディソン校で霊長類を研究する Toni Ziegler 率いるグループの報告によると、2種のサルで妊娠期間中にヒトと同様な現象がみられた。

Ziegler たちは、14頭の雄のコモンマーモセット (*Callithrix jacchus*) を



5か月間、11頭の雄のワタボウシタマリン (*Saguinus oedipus*) を6か月間、それぞれパートナーが妊娠している間、体重を測定した。これらのサルは一夫一婦制で、一部のヒトの父親と同じように、雄ザルが子の面倒を母親と同じか、もしくはそれ以上に熱心に見るという理由から研究対象に選ばれた。測定の結果、雄ザルたちは当初より体重が20%も増えた。研究の結果は *Biology Letters* に報告されている¹。

準備せよ

体重増加は、子が生まれた後のたいへんな数週間を雄ザルが耐えられるよう、引いてはそうすることで子の生存率を高めるようにするためだと思われる、と Ziegler は語る。「太ることで準備する」というわけです。

今回得られた結果から、パートナーの妊娠期間中に体重が増えるヒトの父親についても、その理由の一端が、来たる過酷な日々と眠れない夜に対する準備にあるものと考えられる。「昔はこうした準備が有利に働いたのではないか」と Ziegler は話す。

他の研究では、わが子の誕生を待つ父親たちに、プロラクチンやテストステロンなどのホルモン、またストレスホルモンであるコルチゾールの量の変化が見られることが報告されている。ホルモン量の変化は体重増加につながる可能性があるが、この仮説を検討した研究はほとんどない。

男らしくあるために

人生の大事業を前に、食欲や休息時間が増す傾向にあるパートナーの行動に



「重い」問題：パートナーが妊娠するとなぜ男性は太るのか。

合わせるうちに、男性の体重が増すということも当然考えられる。また食料が十分にあり、肥満傾向の著しい西洋社会では、父親になる男性にとって体重増加が有利となるかどうかを判断するのはむずかしいところだ。

さらに、男性のホルモン量がパートナーの妊娠・出産時に上昇することには、日常習慣の変化やストレスなど多くの理由が挙げられると、まもなく子どもが生まれる男性のホルモン変化を研究しているクイーンズ大学（カナダ、オンタリオ州）の Katherine Wynne-Edwards は指摘する。「継母がやってくると、男性のホルモン量が増えることもあるのです」と Wynne-Edwards は話している。 ■

1. Ziegler T.E., et al. *Biol. Lett.* doi:10.1098/rsbl.2005.0426 (2006).